

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日:2022年8月22日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学バークレー校 現地言語: University of California, Berkeley
留学期間	2022年5月～2022年8月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年8月14日
明治大学卒業予定年	2024年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月中旬～12月下旬 2学期:1月中旬～5月中旬 3学期:サマーセッションズ 5月下旬～8月中旬 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	45,057 (Fall 2021 Enrollment)
創立年	1868

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	6391	733022 円	授業料()+手数料(178ドル)
宿舍費	6278	773908 円	登録手数料(5913 円)+寮費 (767995 円)
食費	354	円	
図書費		円	
学用品費	30	円	DSLR レンタル料
携帯・インターネット費		53000 円	
現地交通費		円	(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費	90.9	円	
医療費	150	23000 円	新型コロナウイルス陰性証明
保険費		30660 円	形態:明大サポート(3カ月のプラン)
渡航旅費		313850 円	航空券(293390)+変更手数料(20460)
ビザ申請費	510	円	\$160(VISA)+\$350(SEVIS)
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	959.61	2259272 円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地:羽田空港 目的地:サンフランシスコ国際空港 経由地: 復路 出発地:サンフランシスコ国際空港 目的地:羽田空港 経由地:
渡航費用
①往復チケットを購入した場合 航空会社:JAL 料金:293390+20460(変更手数料) ②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:JAL) <input type="checkbox"/> その他()

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:International House) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
4)住居を探した方法:
留学報告書、International House のホームページ
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
International House は、多様な国の学生が集まったとても国際的な寮です。寮の食事は、ベジタリアンやビーガン、宗教などを考慮した料理や、様々な国と地域の伝統料理などが提供されており、種類が豊富です。毎週水曜日の夜に開かれていたコーヒーアワーでは、世界中の人々と交流したり文化を共有したり、日本とは違った食文化を体験したりすることができました。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所:)
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等:)
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
現地の危険地域情報:カリフォルニア大学バークレー校や外務省からのメール
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
ポケット Wi-Fi、寮と大学の Wi-Fi を使用していた。接続に問題はなかった。
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
クレジットカード(VISA)、マスターカード、現金を日本から持参した。
6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。
日頃飲んだり使用したりしている薬
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)
渡航前にクレジットカードで支払った

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？ 10 単位以上履修すること	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Digital Photography: Foundation	デジタルカメラ基礎講座
科目設置学部・研究科	Art Practice Department
履修期間	May 23 2022 - Jul 01 2022 (Session A)
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	語学、実習(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 240 分が 4 回
担当教授	Eniola Fakile
授業内容	デジタルカメラのマニュアル機能、画像の作成と取り込み、ファイル管理とワークフロー、画像調整、デジタルプリントなどの技術的なスキルを学び実践する。また、写真の歴史と理論、現代の様々な実践方法についても学習する。
試験・課題など	個々の構成やコンセプトを元に写真撮影をしたり Adobe を使用したりして、カメラとコンピュータの両方の創造的技術を磨いた。また、撮影した写真についてグループ批評と個人指導を行った。
感想を自由記入	DSLR の使い方や Adobe での写真編集方法について詳しく学ぶことができた。また、ISO や絞りなどのカメラの機能を使って膨大な量の写真を撮影することが課されたため、実践演習をすることができた。 個人ワークが中心のため、英語をアウトプットする機会は少なかった。しかし、カメラに関する用語やコンセプト、使い方などについてわからないことは、担当の先生が対面やオンライン、メールを用いて丁寧に説明してくれた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Business English for Multilingual Students	ビジネスイングリッシュ
科目設置学部・研究科	College Writing Programs
履修期間	July 5 - August 12 (Session D)
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義・実践(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 2 回
担当教授	Kyle Ridley
授業内容	英語でビジネスを行うための基礎知識について学び、ディスカッションをする。異なる文化ごとの考え方や働き方の違いについても学習し、異文化間での交渉、ビジネスシチュエーションについて意見交換をした。
試験・課題など	課題:ビジネスに関連する TED-Talks や記事を 3~4 つ視聴読解し、自分の意見をまとめる。 最終課題:フィールドワークの実施。ビジネス戦略や文化間の違いについて発表する。
感想を自由記入	ビジネスに関連する知識事項が難しかったため、それについてのディスカッションをするためには、十分な準備が必要だった。しかし、ビジネス上で、そして異文化間でコミュニケーションを取るときに国や文化による考え方や行動の違いについて学ぶことができた。また、多くの読解とリスニング、アウトプットをする機会があったため、とても勉強になった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Stress and Coping		ストレス対処法
科目設置学部・研究科	Psychology	
履修期間	July 5 - August 12 (Session D)	
単位数	2	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 150 分が 2 回	
担当教授	Andres G Martinez	
授業内容		
試験・課題など	試験: 授業で学んだことや先生が作成したスライドの内容についての試験(記述方式・2 回) 課題: ストレスの対処法についてのレポート(2 回)	
感想を自由記入	日常生活のどのような場面でストレスを感じるか、それを対処したり軽減したりするための有効な用法は何か、についての講義。先生はとても熱心で、ストレスの対処法について熱弁していた。大きなホールでの講義だったため、他の生徒や先生との交流の時間はなく、一方的に講義を聞いている形式だった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
American language and Culture: Food for Thought		アメリカの言語と文化
科目設置学部・研究科	College Writing Programs	
履修期間	July 25 - August 12 (Session E)	
単位数	1	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義・実践(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 150 分が 2 回	
担当教授	Jennifer M Burton	
授業内容	アメリカの食の流通やトレンド、食文化や文化的慣習、国によって異なる大学でのルールなどを学び、自国の文化やそれと類似した文化について考える。また、ディスカッションやフィールドワーク、インタビューなどの実践的な活動も行う。	
試験・課題など	課題: スーパーやファーマーズマーケットでのフィールドワーク、文化や食べ物に関する映画の視聴と記事の読解 最終課題: 食や文化に焦点を当てたプレゼンテーションの発表	
感想を自由記入	アメリカの食文化、アメリカへの食の流通、フュージョンフード、生活文化の違いについて学ぶことができた。様々な国の文化の違いについて、授業を受講していた学生とディスカッションをしたり意見共有をしたりしたことで、新たな考え方やものの見方を学ぶことができた。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	・カナダでの語学研修 ・カリフォルニア大学バークレー校の履修や VISA の手続き
	4月～7月	・明治大学に提出する書類の手続き ・出国の準備
	8月～9月	
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	・セッションが終了した翌日に帰国(8月) ・留学後の手続き
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私がカリフォルニア大学バークレー校を留学先の大学として選んだ理由は二つあります。一つ目は、世界でトップレベルの大学で学ぶ意欲の高い学生等と一緒に勉強できる点に魅力を感じたからです。二つ目は、世界各国から学生が集まっているため、多様な文化や考え方を知ったり新たな視点に気づいたりできると考えたからです。

私はこのサマーセッションズに参加する数ヶ月前に、カナダでの語学研修プログラムに参加していました。語学研修として初めて海外に行き、他国の人々と交流する中で、自分の意思や考えをしっかりと持ち、主張できる力がある人が多いことに気づきました。多様な人々や食文化が存在しており、それを認識したり理解したりすることが、自国を再認識することにつながることもわかりました。またその留学プログラムを終えて、さらに英語力を向上させたい、様々な文化や多様な背景を持つ人々と交流し、日本文化を見直したり今までとは違った考え方見方に気づいたりしたいと思うようになりました。そのため、多様な学生が集まるカリフォルニア大学バークレー校、そして寮の International House は、私の目標を達成できる最適の場だと考えました。

留学生生活では、多様な言語や文化に触れることで、そして世界各国からの留学生や現地の学生と交流することで、日本とは異なる慣習や考え方など、新たな気づきがある場面や新しい体験をする機会がたくさんあります。一方で、日本とは違う環境での生活下では、慣れない生活環境や言語に困惑したり手続きに時間がかかったりする場合もあります。何事も楽しみながらも、最後まで諦めないで課題解決をすることで、留学生生活をより充実したものにする事ができると思います。また、時間に余裕を持つこと、様々なことに積極的に取り組むこと、自らコミュニケーションを取ることが大切だと思いました。